



アイデアお菓子コンクール

『最優秀賞』受賞作品



↑立花小3年 合戸菜々美さん  
『おかしゆうえんち』

←伊万里中2年 畠 香澄さん  
『Candy house』

第15回市民所蔵品展

# 偉人 森永太一郎

—伊万里で生まれた製菓王—



関係者やお菓子コンクール受賞者でテープカットを行いました



伊万里工場の様子

市民所蔵品展

太一郎の書『終始一貫』

第15回市民所蔵品展『偉人 森永太一郎』が、9月21日から(11月16日まで)市歴史民俗資料館で開催されています。森永製菓の創業者で伊万里出身の森永太一郎が愛用していた製菓用のハサミや手帳、市民所蔵の太一郎の書や伊万里工場の写真、おもちゃのカンヅメなど、貴重な資料を展示するほか、太一郎少年と同じようにてんびん棒を担ぐ体験コーナーもあります。また、『森永太一郎物語の紙しばい』をはじめ、多くの関連イベントが開催されています。幼児から中学生まで210点の応募があった『アイデアお菓子コンクール』。森永太一郎調査委員会委員長(市郷土研究会副会長)の松尾 清さんが、『森永太一郎翁が伊万里に残したものと題して行った『記念講演会』(9/28)、『子ども書道教室』(10/5)では、小学生17人が講師の指導を受けながら、太一郎が常に自分の心に留めていた言葉を書き、太一郎の生き方を学びました。また、『親子マシュマロ作り教室』(10/12)で、9組22人の親子が、太一郎がアメリカから帰国後最初に作ったという『マシュマロ』作りを通じて太一郎のお菓子作りにかかる情熱を学びました。



森永太一郎物語の紙しばい



記念講演会



子ども書道教室



親子マシュマロ作り教室



## 人のうごき

平成26年10月1日現在  
 ●人口 56,994人 (± 0)  
   男 27,286人 (+ 5)  
   女 29,708人 (- 5)  
 ●世帯 22,697世帯 (+ 24)  
 ( ) は前月比

## 広報 伊万里 2014-11

- 発行日/平成26年11月1日
- 発行編集/伊万里市情報広報課広報係  
(0955)23-4313 (ダイヤルイン)
- 〒848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355番地1
- 伊万里市のホームページ  
<http://www.city.imari.saga.jp/>
- 印刷/株式会社三光

古来、日本人は季節感を大切にしてきました。例えば、11月の別名は『霜月』が代表格ですが、ほかに『露隠葉月(つゆこもりのはづき)』もあります。葉にかかる露が寒くなって隠れてしまいうですが、季節の移ろいを描写した、いかにも風情のある言葉です。これから、昼夜の気温差が大きくなると、いよいよ山々の紅葉も色鮮やかになります。秋は、読書やスポーツなど、何をするにも過ごしやすい時季ですね。私にとって、秋といえば『食欲』ですが、最近、味覚や体質に変化が生じています。年齢を重ねたせい、肉の脂で胃がもたれる一方、魚の脂をおいしく感じるようになりました。考えてみると、肉は一年中ほぼ同じ味なのに対し、魚には旬があって、漢字で書くと、秋刀魚(さんま)や鮎(かじか)など、いつそう季節感が増します。『天高く馬肥ゆる秋』。澄みわたる秋空の下、我が家の馬2匹も、順調に体重増加中です(拓)

編集室から